

## 今後の山村都市交流拠点施設整備事業について

### 1. 背景

山村都市交流拠点施設（以下「本施設」という。）は、設楽ダムの供用開始に合わせ、同時期での施設開業を想定していたが、令和4年8月31日付で「設楽ダムの建設に関する基本計画」が一部変更され、工期が令和16年度まで8年間延伸されたことに伴い、本施設の整備について事業推進等の見直しを図り、新たな整備スケジュールを設定した。

### 2. 今後の事業推進にあたっての考え方

本施設の完成には、約10年の期間を要することとなり、今後の社会ニーズや環境要因について多様な変化が見込まれる。このような時代の変化の中、施設基本構想で示す「楽しみながら交流し、『水』と『森林』の大切さや魅力を知ってもらう」というコンセプトや「地域の魅力をつなぎ、設楽町・東三河を輝かせる施設」を目指すといった基本的な方向性は変えることなく、設楽町によるダム完成後を見据えたまちづくりと連携を図りながら、新たに求められる機能等について継続的に調査検討を進める。また、施設整備に関する住民等への理解促進や、より多くの方に関心を持ってもらうための広報・啓発活動についても継続的に実施していく。

### 3. 今後のスケジュール

本施設の利用開始を設楽ダムの堤体工事完了に合わせ令和15年度と仮定し、令和5年度から令和14年度までを概ね前期・中期・後期の3区分に設定した上で、各区分に応じた取組を実施する。なお、本スケジュールは、設楽ダムの事業工程（本体掘削、堤体工事、試験湛水等）及び付替道路工事等の進捗状況に応じ、前倒しも含めて適宜見直しを図ることとする。

#### 〔各期間の主な取組内容〕

- 前期 ……用地の取得・造成、関係機関との調整
- 中期 ……住民等への周知・理解促進、施設のプランニング
- 後期 ……施設建設

	前期				中期				後期						
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度
本施設	基本構想	用地取得	施設整備の検討、地域との連携推進、				住民等への周知・理解促進	用地の有効利用	民間活力導入可能性調査 基本計画	基本設計、実施設計、建設工事					
設楽ダム (参考)			用地への残土搬入			工事							試験湛水		供用開始

※本スケジュールは状況に応じ適宜見直しを図る